

www.r-toolbox.jp

toolbox

木製室内窓（上げ下げタイプ）

目次

安全上のご注意／納まり図	1
施工前の確認	2
施工手順	3
メンテナンスについて（ balanサー調整方法）	4-5

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、
死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、
物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



気を付けなければ
いけない注意事項



やってはいけない
注意事項




しなければいけない
強制事項


株式会社 TOOLBOX


URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp


安全上のご注意

設置前にご確認ください

 商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
万一商品に破損や異常がある場合・部品が不足している場合は、contact@r-toolbox.jp までご連絡ください。

 組立・取り付け完了後、開閉作動が正常に行うことができること、
および使用上の不具合がないか確認してください。

 室内窓以外への転用及び改造は行わないでください。

 引渡し前に清掃を行い、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

納まり図

図面はQRコードからご確認ください。



木製室内窓 上げ下げタイプ
【PDF】

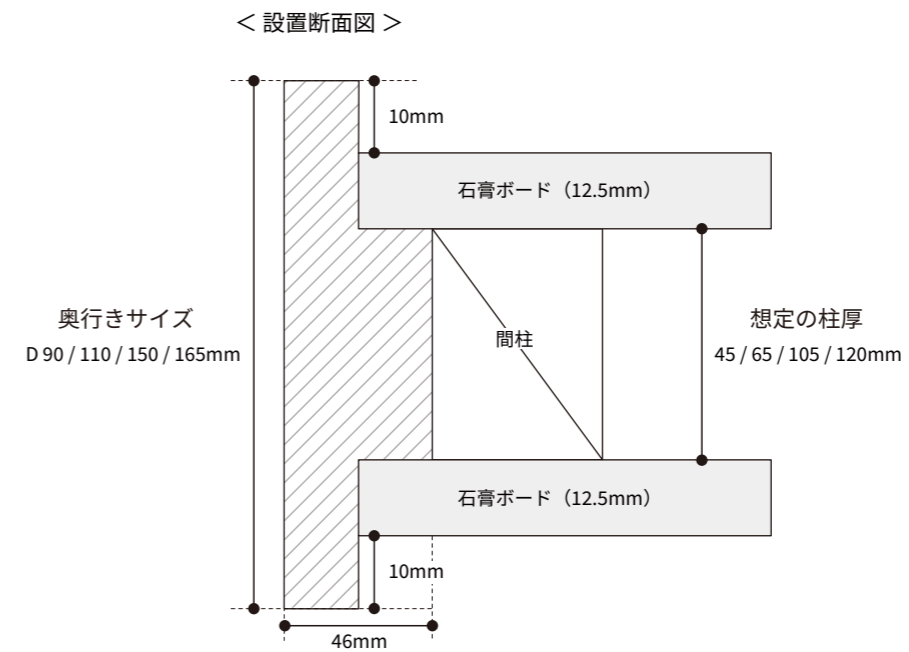
施工前の確認

■ 奥行きと壁厚について

いずれも想定柱厚に対して、12.5mmの石膏ボードを使用した際に、枠が前後に10mmずつ飛び出る一般的な出幅となります。

注意

いずれも想定柱厚以下のサイズの柱に対しては、ご使用いただけません。



奥行きサイズ	想定柱厚	想定壁厚
D90mm	45mm	70mm
D110mm	65mm	90mm
D150mm	105mm	130mm
D165mm	120mm	145mm

施工手順

① 開口部の確認

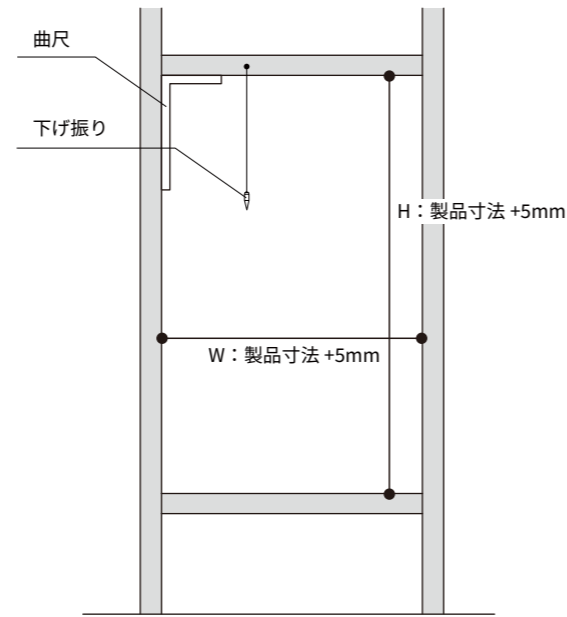
- ・ 取り付け前に必ず柱の垂直、水平が出ているか確認してください。
- ・ 開口部は、製品寸法 +5mm を標準としています。

< 開口部寸法表 >

開口部 W	開口部 H
製品寸法 +5mm	製品寸法 +5mm

⚠ 注意

図面を参考にいただき、側面の隠蔽部を含む製品寸法+5mmを開口部寸法としてください。

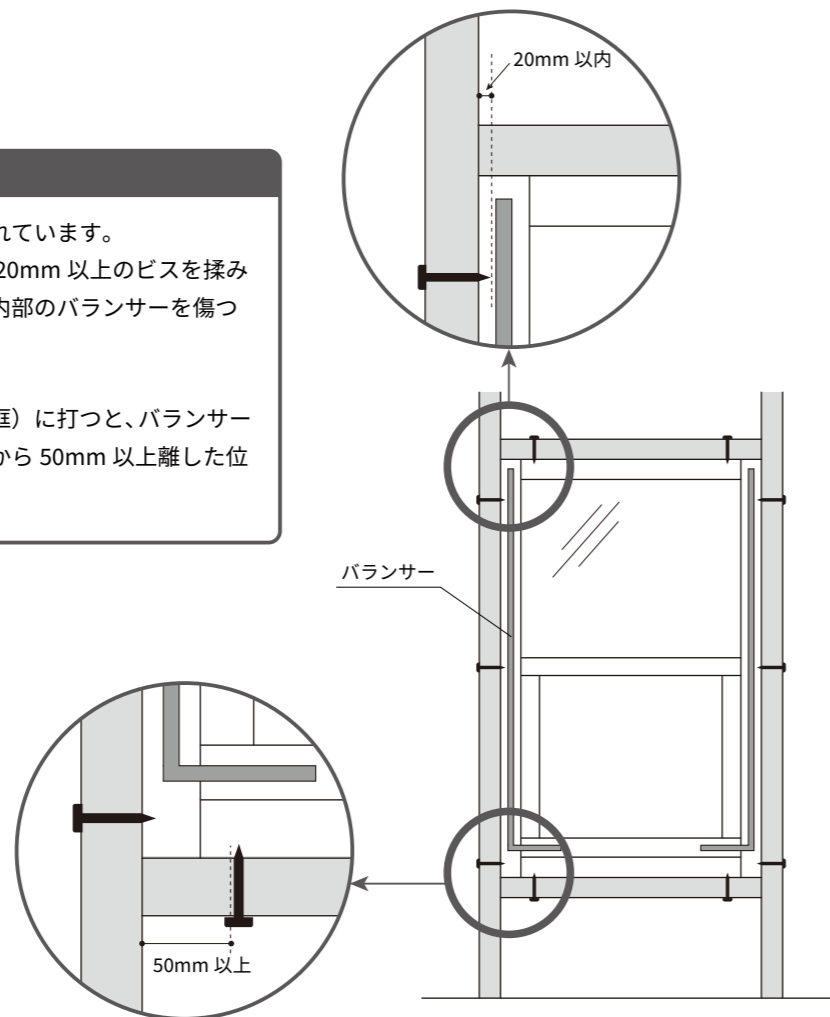


② ビス止め

- ・ 壁打ちからのビス止めを行って下さい。

⚠ 注意

- ⊘ 枠内部にランサーが埋め込まれています。側面のビス止めの際に、製品に 20mm 以上のビスを揉み込まないようにしてください。内部のランサーを傷つける恐れがあります。
- ⊘ 上下をビス固定する際に端（縦框）に打つと、ランサーを破損する恐れがあります。端から 50mm 以上離れた位置にビス止めをしてください。



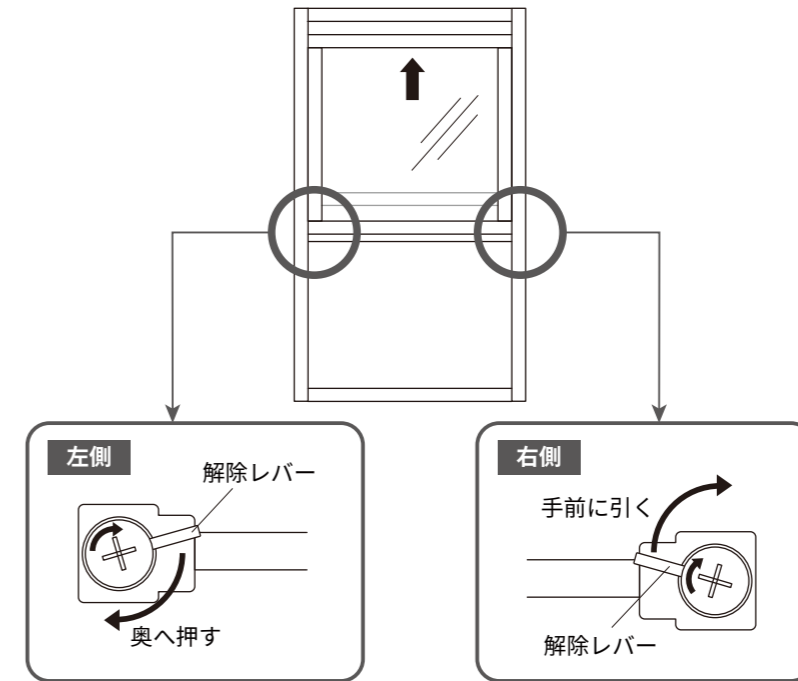
メンテナンスについて（ランサー調整方法）

下記の場合は、ランサーの再調整が必要です。

- ・ 障子が下がったり、上げが重たい（回転数が少ない）
- ・ 障子の下げが重たい（回転数が多い）

① レバーを解除する

障子を全開まで開いて、手で支えながら解除レバーを矢印方向へ回してください。



⚠ 注意

- ❗ 解除すると、障子が落下しますので、必ず障子を手で抑えながら行ってください。
- ❗ 解除レバーは必ず指で押してください。ランサー及びピボットシューが破損する恐れがあります。
- ⊘ 解除レバーは絶対に逆回転させないでください。ランサー及びピボットシューが破損する恐れがあります。

② バランサーを調整する

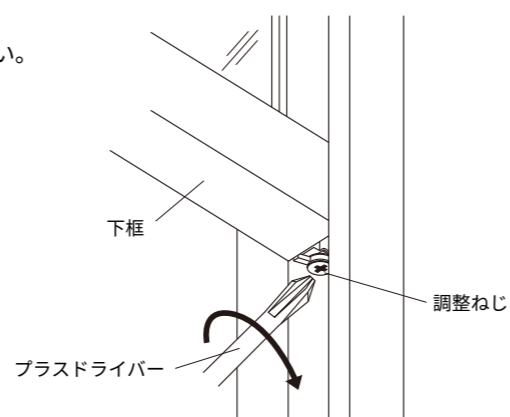
1. レバーの解除後、すぐにバルンサーの調整をしてください。

⚠ 注意

レバーを一旦解除してから、再度調整を行ってください。
バルンサーの調整を行わないで障子の開閉を行うと、バルンサーが破損する恐れがあります。

2. バルンサーのねじり棒の出が短い状態（5～10mm または、障子を一番上に上げた状態）で調整を行ってください。

3. ピボットシューの調整ねじを矢印（右回し）の方向に回してください。



4. 1/4 回転毎に「カチッ」（4 カチで 1 巻）と音がしますので、推奨巻数を参考に回転数を合わせてください。

推奨巻数：3.5 巻

- 推奨巻数±1程度を目安に障子を上の方が軽くなるように調整してください。

※ 但し、5巻以上を超えての使用はバルンサーが破損する恐れがありますのでおやめください。

⚠ 注意

- ❗ 左右の回転数は必ず同じにしてください。バルンサーが破損する恐れがあります。
- ⊘ 調整ねじは絶対に逆回転させないでください。バルンサー及びピボットシューが破損する恐れがあります。
- ⊘ 最大巻数以上の回転をさせないでください。バルンサーが破損する恐れがあります。

5. 出力調整後、必ず下記のことを確認してください。

- 障子を開けた状態で手を離しても障子が下がらない。
- 障子を全開閉を2～3回行ってから、障子を上の方が少し軽いようにしてください。